

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院消化器外科に、大腸癌で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学解剖学第一講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

大腸癌肝転移における VEGF 阻害剤による悪性進展を制御する非コード RNA 発現に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学解剖学第一講座 助教 山岸直子

3. 研究の目的

これまでの研究から多くのがん遺伝子やがん抑制遺伝子が明らかにされています。現在では、これらの分子を標的とした新しい治療薬が、標準化学療法に併用して導入されています。一方で、薬剤が効かなくなる耐性化が問題となっており、耐性化獲得のメカニズムの解明や治療効果を予測できるバイオマーカーを見つけることが急務となっています。われわれは、Vegf ノンコーディング RNA と呼ばれる分子が癌の悪性化と治療抵抗性に関わることを明らかにしております。本研究では、大腸癌と診断された患者さんの病理組織標本を用いて Vegf ノンコーディング RNA の発現を検索し、治療効果および予後を予測するマーカーとして有用であるかを明らかにします。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

平成 20 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日までの期間中に、大腸癌と診断され手術を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、患者さんの性別、年齢、術前および術後化学療法の種類、手術日、癌の進展度、組織型、術後の経過（癌の再発や転移の有無）に関する情報です。

(3) 方法

本学付属病院に保管されている大腸癌病理組織を用いて、Vegf ノンコーディング RNA の発現を in situ hybridization 法で染色し、治療薬の種類や術後の経過と比較検討します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学外科学第2講座 松田健司

TEL : 073-441-0613 FAX : 073-446-6566

E-mail : kmatsuda@wakayama-med.ac.jp